

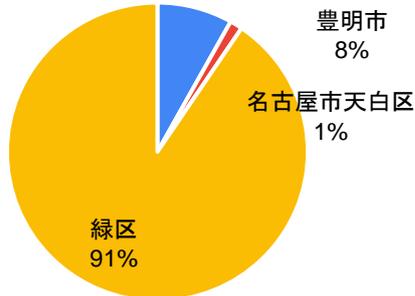
令和5年度 緑区多職種連携研修会研修会 アンケート結果

日時： 令和6年10月 12日（土） 14:00～16:00

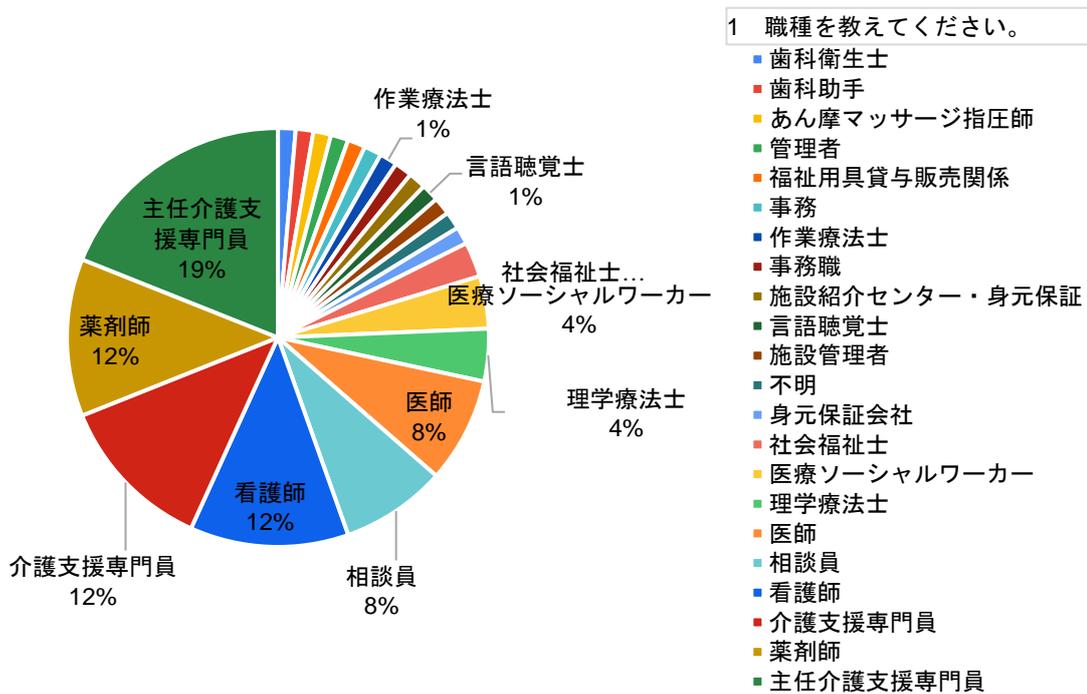
場所： 名古屋市徳重地区会館体育室

アンケート回収率： 82%（アンケート記入者74名/参加者90名）

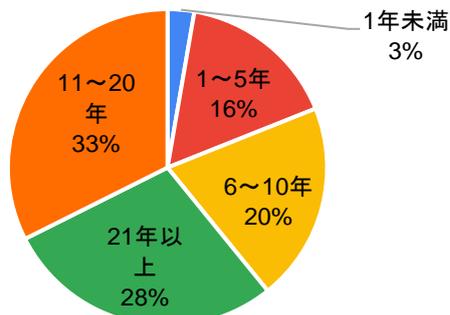
■ 1. 職場所在地



■ 2. 職種を教えてください

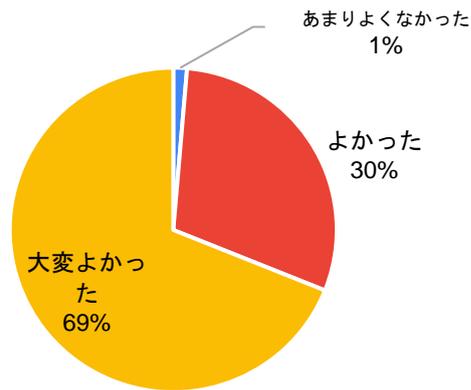


■ 3. 経験年数を教えてください

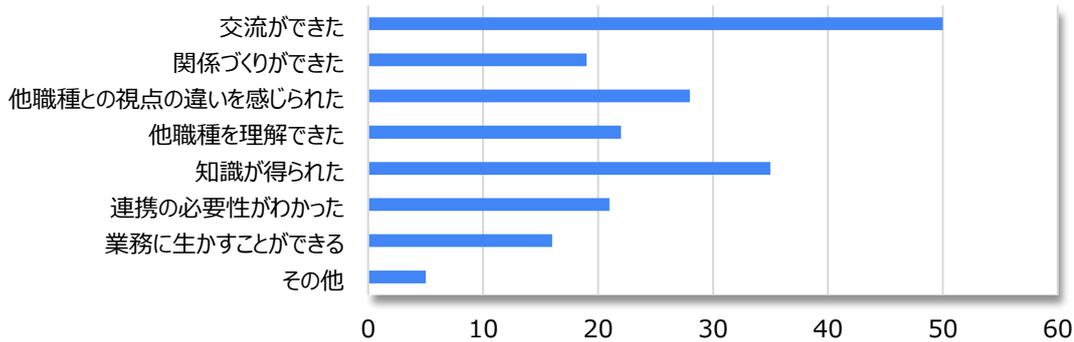


■ 4. 本日の研修会についてお答えください

①参加してよかったと思いますか



大変よかった、よかった 理由を教えてください。(複数回答可)



その他の理由

普段なかなか会えない職種の方々と交流出来て良かった。

佐藤先生、姜先生の講演がとても分かりやすかった。

他病院の特徴を知ることができた。

②講演・交流会を通してどのような気づきがありましたか

緑区を含めた地域医療の現状を知ることができた。

地域医療構想へのケアマネがどのようにかかわるべきか知ることができた。佐藤先生の説明が分かりやすく良かったです。

佐藤先生の講演がとても分かりやすかった。(医療の現状、今後の施策動向など)

「地域医療のあるべき姿」とも勉強になりました。他職種との視点の違い入院時困っていることがそれぞれ異なることが分かりました。

1人の患者様に多くの方が連携していることが改めて知った。

グループワークの時間がもう少し欲しかった(3)

それぞれの病院の特徴が分かった。リアルな交流が必要と分かった

医療・介護の連携に大切さを改めて感じた。(2)

医療のことがなかなかわからないことが多いので勉強する必要性を感じた。

医療再編やこれからの高齢化社会にどう対応すべきかよくわかった

最近では自分の業務のDX化に対応するのが精一杯で目が向けられなかった

改めて多職種の方々に支えられていることを実感した。

各病院のことが分かって勉強になりました。事業所で共有します。業務に生かします(10)

顔の見える関係づくりの場となった(3)

気にかかる点が職種ごとに違うので、話してて楽しかったです。

高齢化が進む中で在宅の必要性を感じた

今後の介護の動きが知れて良かった

少しづつでも知識を深めようと思いました

情報交換ができて良かった。連携のきっかけができた。

色々な職種の視点からのお話を聞くことができてとても勉強になりました。

診療報酬改定のご自身に関わる場所以外について話が聞けて良かった

他のサービスや多職種について学べた。連携できる機会がなかったので良かったです。

他職種の交流意見は為になると感じた。

多職種の意見を聞け勉強になった。多職種の視点の違いを知れて良かった。(10)

退院時の会議の大切さがわかった。

地域医療の病院ができた

入退院後の生活を構築するため様々な立場から情報提供したり共有していくことは必要なんだと感じました。

病院の入院の目的や目標が時代とともに変わっていることが改めて感じた。

普段報酬のことを考えることがないですが、

利用者さんに関わってくださるケアマネジャーやソーシャルワーカーの皆様も良い支援ができればよいので学べてよかったです。

目からうろこの情報があり良かったです

薬剤の供給は「当然」という認識です。ただ薬剤師事情もきびしいことは理解してもらいたいと思いました。

緑区で勤務を始めて日が浅いので色々な病院の多職種の方と話せてよかったです。

③医療・介護連携に関する取り組みとその他ご意見、ご感想、ご要望等がございましたらお聞かせください

グループにて意見もありました、カンファレンスに薬剤師さんの参加があると良いと思いました。

薬剤師を上手に利用していただければいいと思います。

グループワークの時間など個々で交流できる時間がもっとほしいと思いました。(4)

スケジュールがとても良かった。グループワークは楽しいので時間が多いと嬉しいです。

顔が見える関係づくりができて非常に良い時間でした。また参加したいと思います。(2)

今回のような交流会が今後もあるといいなと思います(5)

定期的な開催をお願いします(3)

定期的にこのような他職種との連携できる機会が持てると、困難事例のアドバイスがいただけて業務に有効活用ができる

緑区にはまとめてくださる医療関係の方がいるので助かります。

今まで他職種からの情報はコピーのFAXのFAXという感じで読み辛かったがこちらからもDr2GOを使えるようになったらいいなと思ってます

今後も高齢者は増えるばかりなのでより医療介護の連携が必要と感じた

自発的に取り組むよう働きかける必要がある。

実際に入院時に行くことを研修会として行って欲しい

かかりつけ医が必ずしも主治医ではありません

